

法人本部拠点事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人東平田福祉会

令和元年度社会福祉法人東平田福祉会本部拠点事業報告について

1 総括

(1) 役員の改選について

平成元年度は、役員の改選があり、6月19日の定時評議員会において理事7名及び監事2名の再選を同意した。

なお、定時評議員会の承認後、直ちに理事会を開催し、新理事長を選定した（佐藤弘理事長）。

(2) 職員の資格取得等に対する支援助成制度の創設について

職員の職務に対する意欲、スキルアップを図ることを目的に、介護福祉士等の資格取得等に対し支援・助成する制度を新たに創設した。（令和元年12月20日理事会承認）。

(3) 積立保険への助成制度の創設について

職員が自主的に資産形成のため積み立てすることに対して、福利厚生の一環として、その費用の一部を助成する制度を新たに創設した。

(4) キャリアアップ助成金及び山形県正社員化促進事業奨励金の受給について

① 厚生労働省のキャリアアップ助成金は、有期契約労働者6カ月以上雇用されて3年以内の職員が該当。令和元年度は、準職員から正職員にした職員2人が該当。

・助成金：1人あたり57万円、計114万円。

② 山形県正社員化促進事業奨励金は、上記①のうち40歳未満の1人該当。

・奨励金：1人あたり30万円。

(5) やまがた子育て・介護応援いきいき企業の認定について

山形県が、「女性の活躍推進」と「仕事と家庭の両立支援」に積極的に取り組んでいる企業を登録・認定してサポートするもので、2月応募、3月「優秀（ダイヤモンド）企業」に登録・認定された。

2 決算状況について

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書における当期末支払資金残高は、1億3,534万9,450円（前年度1億4,283万7,610円）で、前年度に比べ748万8,160円（△5.5%）の減となっている。

(2) 事業活動計算書

事業活動計算書における次期繰越活動増減差額は、3億7,019万8,803円（前年度3億7,582万2,892円）で、前年度に比べ562万4,089円（△1.5%）の減となっている。

(3) 貸借対照表

貸借対照表における純資産の部の合計は、5億6,355万6,004円（前年度5億8,545万7,374円）で、前年度に比べ2,190万1,370円（△3.9%）の減となっている。

(4) 財産目録

財産目録における差引純資産は、5億6,355万6,004円（前年度5億8,545万7,374円）で、前年度に比べ2,190万1,370円（△3.9%）の減となっている。

3 法人の概要

(1) 法人名 社会福祉法人東平田福祉会

(2) 所在地 酒田市関字向126番地の2

(3) 設立認可年月日 昭和49年4月18日

(4) 法人事業

① 第1種社会福祉事業

ア 特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホームあずま：定員29名）

（平成27年4月1日指定）

② 第2種社会福祉事業

ア 保育所の経営（東平田保育園：定員80名）

（昭和48年10月1日認可）

イ 老人デイサービス事業の経営（デイサービスセンターあずま：定員27名）

（平成12年4月1日指定）

ウ 老人介護支援センターの経営（あずま指定居宅介護支援事業所）

（平成12年4月1日指定）

エ 老人居宅介護等事業の経営（ホームヘルプサービスあずま）

（平成12年11月22日指定）

オ 老人短期入所事業の経営（ショートステイあずま：定員12名）

（平成22年5月1日指定）

カ 一時預かり事業の経営（東平田保育園）

（平成22年8月1日開始）

③ 公益事業

ア 地域包括支援センターひがし

（平成18年4月1日指定）

イ 介護予防支援事業

（平成18年4月1日指定）

4 理事会、評議員会開催状況

(1) 役員及び評議員の構成（令和2年3月31日現在）

① 役員

ア 理事 7名

イ 監事 2名

② 評議員

ア 評議員 9名

(2) 理事会開催状況

開催年月日	内 容
令和元年6月3日 (月)	・ 第1回理事会（出席者:理事6名、監事2名） ・ 理事長の職務執行状況報告 ・ 第1号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会東平田福祉会計算書類等の承認について ・ 第2号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点事業報告について ・ 第3号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点決算の承認について ・ 第4号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点事業報告について ・ 第5号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点決算の承認について ・ 第6号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点事業報告について ・ 第7号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点決算の承認について ・ 第8号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点事業報告について ・ 第9号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点決算の承認について ・ 第10号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点事業報告について ・ 第11号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点決算の承認について ・ 第12号議案 定時評議員会の招集について ・ その他 (1) 新役員の候補者案について (2) 理事会の招集手続の省略について
令和元年6月19日 (水)	・ 第2回理事会（出席者:理事7名、監事1名） ・ 理事長の選定について ・ その他 (1) 保育園保育室（0歳児）のエアコン更新について
令和元年9月6日 (金)	・ 9月10日開催予定の理事会を諸事情により延期。補正予算3件の専決処分を行う旨役員へ通知。
令和元年10月10日 (木)	・ 第3回理事会（出席者:理事6名） ・ 理事長の職務執行状況報告 ・ 報第1号議案 専決事項の処分について（令和元年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第1次補正予算） ・ 報第2号議案 専決事項の処分について（令和元年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第1次補正予算） ・ 報第3号議案 専決事項の処分について（令和元年度社会福祉法人東平

開催年月日	内 容
	田福祉会特別養護老人ホーム拠点第1次補正予算) ・第1号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第2次補正予算について ・第2号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点第2次補正予算について ・第3号議案 社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園運営規程の一部改正について
令和元年12月20日 (金)	・第4回理事会（出席者：理事7名、監事2名、オブザーバー（評議員）8名） ・理事長の職務執行状況報告 ・第1号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点第1次補正予算について ・第2号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第2次補正予算について ・第3号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第3次補正予算について ・第4号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点第3次補正予算について ・第5号議案 社会福祉法人東平田福祉会職員資格取得等支援助成金支給規程の制定について
令和2年3月24日 (金)	・第5回理事会（出席者：理事7名、監事2名） ・理事長の職務執行状況報告 ・第1号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点第2次補正予算について ・第2号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第3次補正予算について ・第3号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第4次補正予算について ・第4号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点第4次補正予算について ・第5号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点第1次補正予算について ・第6号議案 社会福祉法人東平田福祉会定款施行細則の一部改正について ・第7号議案 社会福祉法人東平田福祉会給与規程の一部改正について ・第8号議案 社会福祉法人東平田福祉会準職員等給与規程の一部改正について ・第9号議案 社会福祉法人東平田福祉会再雇用職員給与規程の一部改正について ・第10号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点事業計画について

開催年月日	内 容
	・ 第11号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点予算について ・ 第12号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点事業計画について ・ 第13号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点予算について ・ 第14号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点事業計画について ・ 第15号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点予算について ・ 第16号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点事業計画について ・ 第17号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点予算について ・ 第18号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点事業計画について ・ 第19号議案 令和2年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点予算について ・ その他 (1) 電気料について (2) 創立60周年記念事業について

(3) 評議員会開催状況

開催年月日	内 容
令和元年6月19日 (水)	・ 定時評議員会（出席者：評議員総数9名中8名、監事1名） ・ 各事業所の近況報告 ・ 報第1号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会事業報告について ・ 第1号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会計算書類等の承認について ・ 第2号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点決算の承認について ・ 第3号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点決算の承認について ・ 第4号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点決算の承認について ・ 第5号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点決算の承認について ・ 第6号議案 平成30年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点決算の承認について ・ 監事による監査報告

開催年月日	内 容
	・第7号議案～第13号議案 社会福祉法人東平田福祉会理事の選任について（7件） ・第14号議案～第15号議案 社会福祉法人東平田福祉会監事の選任について（2件） ・報第2号議案 平成31年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点事業計画及び拠点予算について ・報第3号議案 平成31年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点事業計画及び拠点予算について ・報第4号議案 平成31年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点事業計画及び拠点予算について ・報第5号議案 平成31年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点事業計画及び拠点予算について ・報第6号議案 平成31年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点事業計画及び拠点予算について ・その他 （1）新理事長の選定について（報告）
令和元年12月20日 （金）	・理事会に評議員（8名）がオブザーバーとして出席 ・理事長の職務執行状況報告 ・第1号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点第1次補正予算について ・第2号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第2次補正予算について ・第3号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第3次補正予算について ・第4号議案 令和元年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点第3次補正予算について ・第5号議案 社会福祉法人東平田福祉会職員資格取得等支援助成金支給規程の制定について

5 監事監査実施状況

開催年月日	内 容
令和元年5月27日 （月）	・平成30年度の監事監査実施。 （出席者：監事2名、理事長、法人5名）

6 第三者委員会開催状況

開催年月日	内 容
令和2年2月14日 （金）	・第三者委員会を開催し、令和元年度の苦情等報告、意見交換。 （出席者：委員3名、評議員選任・解任委員5名、法人理事長以下4名）

7 調整会議の開催

法人運営について、円滑な推進を図るため、毎月1回各事業の進捗及び収支状況等の確認並びに課題等について検討・調整等を行った。（構成：理事長、所長、園長、施設長、事務長）

8 職員配置

職 名	氏 名	勤務形態	業 務	備 考
事 務 長	茂 木 寛 治	常 勤	法人運営、施設管理等統括	
事 務 員	佐 藤 麻 衣	常 勤	経理、その他庶務全般	

《平成元年度 酒田市法人保育園・認定こども園連絡協議会 事業報告》

年 月 日	内 容
令和元年5月14日 (火)	・第1回幹事会（場所：市役所3階 第2委員会室）理事長出席
令和元年6月18日 (火)	・総会（場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田）理事長、園長出席
令和元年7月9日 (火)	・第2回幹事会（場所：港南コミュニティ防災センター講座室）理事長出席
令和元年7月29日 (月)	・法人役員研修会並びに懇親会（場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田） ※研修会（1部）1 「幼児教育・保育無償化制度について」 2 「酒田市における児童虐待について」 講師：酒田市健康福祉部子育て支援課 課長 菅原 正成 氏 ※研修会（2部）1 「酒田市保育士等人材確保事業について」 講師：酒田市健康福祉部子育て支援課 保育主幹 堀賀 泉 氏 (出席者：8名) 理事長、理事3名、監事1名、事務長、所長、園長
令和元年8月21日 (水)	・第3回幹事会（場所：市役所3階 第2委員会室）理事長出席
令和元年10月29日 (火) ～ 令和元年10月30日 (水)	・法人保育園・認定こども園連絡協議会視察研修 ①10月29日 福島東こども園（福島市） ②10月30日 原町聖愛こども園（南相馬市） (参加者) 理事長、園長
令和元12月16日 (月)	・第4回幹事会（場所：市役所 103・104会議室）理事長出席
令和2年2月12日 (水)	・新春懇談会（場所：ホテルリッチ&ガーデン酒田）理事長、園長出席 ※講話1 「多文化共生社会・ニュージーランドにおける子育て支援」 講師：東北公益文科大学教授 武田真理子 氏 ※講話2 「市政の展望について」 講師：酒田市副市長 矢口 明子 氏

東平田保育園拠点事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人東平田福祉会

令和元年度社会福祉法人東平田福祉会
東平田保育園拠点事業報告について

1 運営方針・保育目標

(1) 運営方針

保育園は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、その生活の大半を過ごすところであり、子どもたち一人ひとりのありのままを受け入れ、それぞれ安心して生活できる場としての環境づくりに配慮し、さらに、園長、保育士、調理員を含めたスタッフ全員との関わりの中で子どもたちを育て、育んでいく。

また、複合施設として機能の充実を図るとともに、より地域から愛され、必要とされる保育園を目指し、地域に向けての活動を積極的に行う。

新園舎になり、機能的な生活環境も整ってきており、保育内容の充実を図り、健康で安全な生活をし、人間性豊かな子どもを保護者とともに育てていくことを保育方針とする。

(2) 保育目標

東平田保育園では、子どもたちがより健やかに成長することを願い、次に目標のもとに計画を立て、保育にあたっています。

子どもたちにとっては、友だちと一緒に楽しい集団生活を送る場です。

明るく元気でたくましい子ども

(心身ともに健康で、明るい子どもに育てる)

温かく思いやりのある子ども

(友たちと仲良くできる、やさしい子どもに育てる)

感性豊かな子ども

(自然の中で活動したり、喜んだり、感じたこと、
思ったことが表現できる子どもに育てる)

保育園の概要

設置主体

社会福祉法人 東平田福祉会(理事長 佐藤 弘)

名 称

東平田保育園(園長 池田 京子)

所在地

〒998-0805 山形県酒田市関字向126-2
TEL.0234-94-2341 FAX.0234-94-2340

敷地面積

5,585.91m²

建物面積

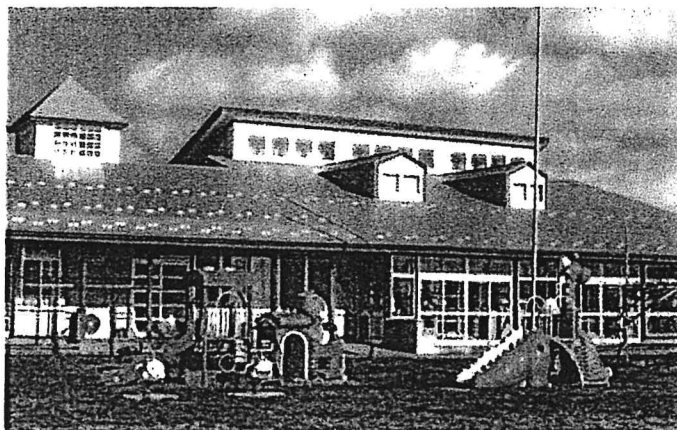
665.42m²

対象年齢

0歳～就学前

定 員

80名



職員体制

園長・主任保育士・保育士12名・調理員2名

保育時間

保育短時間／8:00～16:00 16:00以降は延長保育
保育標準時間／7:15～18:15 18:15～18:45までは延長保育
※仕事の都合などで、上記の時間内で登降園できない方は、事前に保育園に連絡ください。

休園日

日曜日・国民の祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

実施保育

乳幼児保育・延長保育・一時預り

クラス編成

ゆり組(0・1歳児)・ひまわり組(2歳児)・ばら組(3歳児)
たんぽぽ組(4歳児)・すみれ組(5歳児)

令和元年度 年間行事のあしあと

	行 事	
4 月	入園式 ～今日からみんなお友達～ 交通安全教室入会式	保護者会総会 園外保育（さくら公園）
5 月	園外保育（舞鶴公園）	親子旅行～いちご狩り～
6 月	歯科検診 内科検診 眼科検診 耳鼻科検診	地区運動会（すみれ組・たんぽぽ組） 笹の葉とり（すみれ組） 笹巻き作り
7 月	プール開き セタまつり 夕涼み会	お泊り保育（すみれ組） 巡回サッカー教室（すみれ組）
9 月	運動会『ひがしっこ オリンピック』 ～みんなでつくろう えがおキラキラ～	園外保育～特養あずま敬老会へ訪問～ （すみれ組）
10 月	園外保育～大森山～ 芋煮会 ハロウィンパーティー	ふるさとまつり （すみれ組・たんぽぽ組） 交通安全教室
11 月	幼児すてっぷ出前講座 ～積み木遊び～（すみれ組） 七五三参り 祖父母参観 平田小学校ボランティア	園外保育 ～セリアにお買い物&タウンセンター～ （すみれ組） 防災学習館見学（すみれ組） 巡回サッカー教室（すみれ組）
12 月	内科健診 クリスマス発表会 ～みにくいあひるのこ～	園外保育 ～特養あずまクリスマス会訪問～（すみれ組）
1 月	記念写真撮影	3 園合同サッカー大会（すみれ組）
2 月	音楽の広場 ♪ライオンキングメドレー （ばら組・たんぽぽ組・すみれ組） 豆まき	交通安全教室修了式
3 月	ひなまつり お別れパーティー	卒園式 ～ぼくたち わたしたちのおわかれの日～

- ・身体測定、誕生会、避難訓練は毎月実施
- ・デイサービスセンターあずまへは、毎月訪問
- ・保護者会役員会は（4 月、6 月、7 月、9 月、1 月、2 月、3 月）に実施
- ・サッカー教室は年長組、毎月実施
- ・英語教室は年長組、（5 月、6 月、8 月、10 月）に実施
- ・スイミング教室は年長組（4 月、5 月、6 月、8 月、9 月、10 月）に実施

年齢別／地区別園児数

地区別	5歳児		4歳児		3歳児		2歳児		1歳児		0歳児	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
生石	とうま		れんせい		ようた	りあな	りく	せいな	ゆうま			
			はじめ				たいが					
							そうた					
矢流川	だいや	ひな			こうわ	あんな			はやせ	ゆい		まな
	ゆうま	のあ										
大 平						みあ	やまと		かいと	りこ		
金生沢		りあ	たいよう		ちはる	ひな						
			あおと		けんしん							
寺 内		らむ						かのん				
北 境							はるき					あやね
境興野		せら										
関				つきか		ちひろ						
滝野沢												
横 代					まなと			みく				
東大町				ゆな								
新 橋	あいと	たまお		みさき				なのか		いずみ		さくら
	あるひ	まな										
日の出町			りく									
富士見町				めい								
東泉町				まい								
旭新町	りょうや					ひなの				みおな		
こあら				かほ								
上安町			ななと								ちはる	
大 宮	かい		れい									
中平田				みさき				さくら				
								あんな				
松 山								みゆ			そうま	
平 田								うい				
庄内町											あやと	
小 計	7	7	7	7	5	6	5	8	3	4	3	3
合 計	14		14		11		13		7		6	
									総合計		65名	

令和元年度 東平田保育園 職員状況

No.	職 名	氏 名	資 格	職 務 内 容	備 考
1	園 長	池田 京子	保育士	管理職	
2	主 任	阿部 純子	保育士	フリー	
3	調 理 師	佐藤 由香	調理師	給食／食育リーダー	
4	主任補佐	阿部 美香	保育士	4歳児クラス	
5	主任補佐	門脇 早美	保育士	2歳児クラス	
6	保 育 士	水戸 光紗	保育士	3歳児クラス／安全管理リーダー	12月末退職
7	保 育 士	佐藤明日香	保育士	5歳児クラス／3歳以上児リーダー	
8	保 育 士	早坂 由里	保育士	0.1歳児クラス／保健衛生リーダー	
9	調 理 師	伊藤 亜紀	調理師	給食／食物アレルギーリーダー	
10	保 育 士	太田 奈央	保育士	0.1歳児クラス／乳児未満児保育リーダー	
11	保 育 士	菅原 綾紗	保育士	3歳児クラス／図書リーダー	
12	保 育 士	佐藤 美優	保育士	5歳児クラス／障害児保育リーダー	
13	保 育 士	生石 由香	保育士	2歳児クラス	
14	保育助手	飯塚妃佐子	無	2歳児クラス	
15	保育助手	奥山 早夏	保育士	2歳児クラス	
16	保育助手	佐藤 せつ	無	0.1歳児クラス・延長保育	10月末退職
17	保育助手	大倉 枝里	無	0.1歳児クラス	
18	保育助手	長沢栄美子	無	0.1歳児クラス	
19	保育助手	後藤 真紀	無	0.1歳児クラス・延長保育	
20	運 転 手	池田 昭年	大型	保育園バス運転・管理	

あずま拠点事業報告書

- 1 デイサービスセンターあずま
- 2 あずま指定居宅介護支援事業所
- 3 ホームヘルプサービスあずま

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人東平田福祉会

令和元年度 社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点事業報告について

I デイサービスセンターあずま

1 事業内容

通所介護・介護予防通所介護事業・予防・日常生活支援総合事業（通所型サービスA）の適正な運営を確保するための人員及び管理運営に関する基準に沿った体制で業務にあたった。利用者が住み慣れた地域での在宅生活を継続することができるよう、入浴、排泄、食事等日常生活上必要な世話及び機能訓練を行った。機能訓練では身体機能、生活機能の維持向上を目的とし、機能訓練指導員により個別機能訓練計画に沿った機能訓練を実施した。

居宅事業所や地域包括支援センターからの新規利用者の紹介や利用回数増の希望には調整を図りながら受け入れ態勢を整えた。令和元年度の平均利用者数が17.9名、稼働率66.4%の実績となった。（新規利用者18名）。入院者数、死亡者数、ショート利用者数が増加傾向にあり、前年度に比べ利用者数の減少が大幅な結果となってしまった。

来年度には増員につながるようサービス内容の見直しや選んでもらえる施設となるようパンフレット作成等検討している。

今年度も、すこやかマスターズ介護予防事業を酒田市より受託。多目的交流センターを利用し、5クール延べ335名の東平田・中平田・北平田の地域住民が参加し、介護予防に取り組んだ。認知症の予防、運動器の機能向上に努めることができた。

保育園児とのほのぼのの交流や地域の小学校生徒との交流、地域行事への参加・行事へのボランティアの参加も受け、地域に根差したデイサービスとして活動を行った。

安全衛生管理の取り組みとしては、施設内の備品・器具の故障や危険箇所、外回りの点検を行い、異常を確認した際にはその都度対応している。

自然災害や漏電による出火などを想定した避難訓練を計画実施し、初期消火訓練、通報装置や消火設備の取り扱いの周知を図った。通報訓練では、実際に消防へ通報、非常災害時の緊急連絡網においての連絡訓練も行い、各職員の意識づけを図ることができた。

職員体制としては、4月より新たに地域包括支援センターの看護師が兼務で業務にあたった。産休育休を取得した職員1名が10月より復帰。毎日、夕方ミーティングを行い事業所内の職員、間、他職種との連携を図りながら、より良いサービス提供に努めた。

12月に中国で発生した新型コロナウイルスが国内でも発生したことで、感染拡大防止に向けた国からの通知を随時確認し、対応を行っている。施設内や利用者・職員の衛生管理を行い、除菌や消毒の徹底を継続している。

車両管理については、車両の日常点検など体制の整備を行い、保全管理と暖冬なため雪による被害や事故もなく、送迎時の安全運転に十分に気をつけ送迎を行った。

2 利用料金

サービス提供時間 7 時間以上 8 時間未満

介護保険負担割合によって1割もしくは2割が利用者負担額

○指定介護予防通所介護相当サービス

認定区分	1 割負担	2 割負担
要支援 1	1655円	3310円
要支援 2	3393円	6780円

(1 か月定額)

・サービス提供体制強化加算 (I) イ

認定区分	1 割負担	2 割負担
要支援 1	72円	144円
要支援 2	144円	288円

(1 か月定額)

選択サービス	1 割負担	2 割負担
運動器機能向上訓練加算	225円	450円

(1 か月定額)

・介護職員処遇改善加算 I

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
--------------	-------------

(1 か月定額)

○通所型サービス A

・通所型独自サービス

認定区分	1 割負担	2 割負担
要支援1	518円	1036円
要支援2	540円	1080円

(1 日につき)

選択サービス	1 割負担	2 割負担
運動機能向上訓練加算	225円	450円

(1 か月定額)

・介護職員処遇改善加算 I (1 か月定額)

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
--------------	-------------

・入浴 450円 (全額自己負担額)

・食費 600円 (全額自己負担額)

○ 通常規模型通所介護施設 (基本料金)

認定区分	1 割負担	2 割負担
要介護 1	648円	1296円
要介護 2	765円	1530円
要介護 3	887円	1774円
要介護 4	1008円	2016円
要介護 5	1130円	2260円

(1 日につき)

・サービス提供体制強化加算 (I) イ

選択サービス	1 割負担	2 割負担
要介護 1	18円	36円
要介護 2	18円	36円
要介護 3	18円	36円
要介護 4	18円	36円
要介護 5	18円	36円

(1 日につき)

・サービス加算

	1 割負担	2 割負担
入浴サービス	50円	100円
個別機能訓練サービス I	46円	92円

(1 日につき)

・介護職員処遇改善加算 I

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
--------------	-------------

(1 か月定額)

・食費 600円 (全額自己負担額)

3 事業実施日

年末年始休業 (12月31日から 1 月 3 日) を除く月曜日から土曜日まで

4 営業時間

午前 8 時30分から午後 5 時15分 (サービス提供時間: 午前 9 時から午後 4 時15分まで)

5 事業の実施区域

酒田市内

6 1 日利用定員

27名 (通所介護・介護予防通所介護・通所型サービス A 含む)

7 職員の配置状況

職 名	氏 名	形 態	資 格 等	備 考
管理者	堀 由美子	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
主任 生活相談員	兵 藤 い く	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
生活相談員兼 介護職員	村 上 里 奈	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
生活相談員兼 介護職員	佐 藤 有 喜	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
機能訓練指導員	堅 田 美 智	常・専	正看護師	
看護師	佐 藤 みさ子	常・専	正看護師	
看護師	富 田 美 千	常・兼	正看護師	
介護職員	小 林 誠	常・専	介護福祉士	
介護職員	斎 藤 学	常・専	介護福祉士	
介護職員	後 藤 弘 美	常・兼	初任者研修	ヘルパー兼務
介護職員	佐 藤 ゆ う	常・専	ホームヘルパー2級	
介護職員	斎 藤 美 樹	非・兼	介護福祉士	
調理員	庄 司 恵 美	非・専	調理師	
調理員	梶 原 英 子	非・兼	調理師	

8 年間行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月
花見ドライブ	合同避難訓練	あじさい見学	おやつドライブ	夏祭り	敬老会・運動会
地区祭り見学	手作りおやつ	手作りおやつ	(日和山公園) (日枝神社)	カキ氷作り	おやつ作り
行事食・手作り おやつ				行事食	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
紅葉ドライブ	文化祭	クリスマス会	新年会	節分	ひな祭り会
合同避難訓練	平田小6年訪問	行事食	行事食	手作りおやつ	卒園児と交流会
平田小4年訪問	手作りおやつ		手作りおやつ		行事食

9 月別利用者数

令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	25	26	310
要支援 事業対象者	51	35	35	44	36	44	51	49	46	51	46	57	545
要介護	492	500	470	477	449	416	418	385	373	331	341	358	5,010
合 計	543	535	505	521	485	460	469	434	419	382	387	415	5,555
1 日平均	20.8	19.8	20.2	19.2	17.9	18.4	17.3	16.6	16.7	15.9	15.4	15.9	17.9

10 利用者状況

(1) 自治会ごとの登録利用者数

【東平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
関	5人	
横 代	9人	他サービス2人
北 境	2人	他サービス2人
寺 内	2人	死亡1人
金生沢	5人	他サービス2人
矢流川	3人	他サービス1人
生 石	4人	他サービス1人
滝野沢	1人	
通 越	2人	死亡1人
大 平	1人	
境興野	2人	中止1人
願 瀬	1人	
合 計	37人	他サービス8人 死亡2人 中止1人

【中平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
大多新田	1人	
中野新田	1人	
手蔵田	6人	他サービス2人
小 牧	3人	
萩 島	1人	
大野新田	1人	他サービス1人
茨野新田	3人	死亡1人
熊手島	1人	
熊野田	1人	他サービス1人
合 計	18人	他サービス4人 死亡1人

【北平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
新青渡	4人	他サービス1人
漆曾根	6人	他サービス1人
久保田	1人	他サービス1人
曾根田	1人	他サービス1人
合 計	12人	他サービス4人

【その他の地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
東大町	1人	
寺 田	1人	
上安田	1人	
本 町	1人	
泉興野	1人	
星 川	1人	他サービス1人
麓	1人	
米 島	1人	他サービス1人
大島田	1人	
合 計	9人	他サービス2人

令和元年度 登録者数 計76人（他サービス、中止、死亡者含む）

(2) 地区別男女数

地区	男	女	計
東平田	4人	22人	26人
中平田	3人	10人	13人
北平田	1人	7人	8人
その他	1人	6人	7人
合 計	9人	45人	54人

(3) 年齢別男女数

年齢	男	女	計
65～74歳	1人	0人	1人
75～79歳	2人	1人	3人
80～84歳	0人	6人	6人
85～89歳	3人	10人	13人
90～94歳	2人	24人	26人
95～100歳	1人	4人	5人
合 計	9人	45人	54人

(4) 介護度状況

介護度	人数
事業対象者	1人
要支援1	2人
要支援2	8人
要介護1	14人
要介護2	13人
要介護3	13人
要介護4	1人
要介護5	2人
合 計	54人

令和2年3月31日現在 利用者数 計54人（予防対象者含む）

Ⅱ あずま指定居宅介護支援事業所

1 事業内容

居宅介護支援業務は、昨年と同様 75 歳以上の高齢化の進展と認知症の増加が見られる。地域包括支援センターを通し新規の相談や退院時のサービス調整、または、直接、護者からの相談に迅速な対応に従事した。

今年度は長年担当してきたご利用者様が ADL 低下で在宅が困難となり、施設入所に繋がるケースがあった。また、日中、独居の認知症や身体的に不安を抱える高齢者が在宅で過ごすことを強く望み、訪問介護、ショート、通所系のサービス調整に対応した。サービス調整時には、ご利用者に合ったサービス事業所の提案をし、パンフレット・等で希望に添えるよう心がけた。担当者の中でも月のモニタリング訪問以外に数回、足を運び安否確認や家族との情報提供などに費やすケースもあった。

医療と介護の連携強化として、入院時の情報提供書の提出も病院へ届けることを行った。

令和元年 10 月には、消費税が上がり各事業所の加算関係の変更があり対応した。

また、質の高いケアマネジメントの推進では、他事業所（7 圏域）との事例検討会 2 回、地域包括支援センター主催のブロック研修や、介護保険課主催の自立支援型地域ケア会議へ参加、課題に対して専門職からの意見をいただいた。このほか令和元年度の研修・会議計画に沿って内部研修を実施し、ケアマネの質の向上を図っている。

今年度初の自治会サロンに介護保険制度について講師として 2 か所に参加した。令和 2 年度は、介護支援専門員更新の研修へ該当者が予定している。

介護予防を図りつつ、地域で自分らしく暮らし続けて行くために、地域の協力や介護医療と連携し、利用者・家族に寄り添い取り組んでいく。

また、今年度も自治会サロンから講師の要請があれば進んで参加するなど、地域住民への介護保険制度や予防への取り組み等も地域包括支援センターと連携し行っていく。

新型コロナウイルス感染症予防として、酒田市からの対応方針に従い、居宅ケアマネジャー業務を行っている。

2 サービス内容

- (1) 居宅サービス計画の作成（介護予防も含む）
- (2) 利用者状態の把握、アセスメント
- (3) 居宅サービス事業者との連絡・調整、担当者会議
- (4) サービス実施状況の評価、モニタリング
- (5) 給付管理
- (6) 要介護認定、要支援認定申請に対する協力・援助
- (7) 相談業務
- (8) 要介護認定訪問調査

3 営業日

事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 月曜日から金曜日までとする。ただし、祝日、12月29日から1月3日までを除く。
- (2) 営業時間 午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、時間外は携帯電話への転送により24時間体制。夜間・休日の緊急時、または希望時の対応可

4 事業実施地域
酒田市

5 利用料金
自己負担なし

6 介護報酬

(1) 居宅介護支援費(I)

＜取り扱い件数が40件未満の場合＞

要介護1、2 1,053単位/月

要介護3、4、5、 1,368単位/月

① 特定事業所加算Ⅱ 400単位

② 病院等と利用者に関する情報共有等を行う事に着目した評価(医療と介護の連携)

入院時情報連携加算(Ⅰ) ⇒ 200単位/月(入院後3日以内に情報提供)

入院時情報連携加算(Ⅱ) ⇒ 100単位/月(入院後7日以内に情報提供)

退院・退所加算

連携1回カンファレンス無 450単位/月、有 600単位/月

連携2回カンファレンス無 600単位/月、有 750単位/月

③ 他の居宅介護事業所と連携に対する評価(介護予防支援も同様)

小規模多機能型居宅介護事業所連携加算 ⇒ 300単位/月

複合型サービス事業所連携加算 ⇒ 300単位/月

④ 緊急時等居宅カンファレンスに対する評価

緊急時等居宅カンファレンス加算 ⇒ 200単位/月

⑤ 初回の支援に対する評価

初回加算 ⇒ 300単位(初回時)

⑥ 末期の悪性腫瘍の利用者に対する

ケアマネジメントターミナルケアマネジメント加算 ⇒ 400単位

(2) 介護予防支援費

介護予防ケアマネジメント費 Ⅰ

(要支援) 430単位/月 包括からの委託費 3870円

介護予防ケアマネジメント費 Ⅱ

(A型 事業対象者) 209単位/月 包括から委託費 1881円

初回加算 300単位/月 包括からの委託費 2700円

7 職員配置と職務内容

(1) 職員配置

職 名	氏 名	資 格	職務内容	備考
管理者兼介護支援専門員	堀 由美子	主任介護支援専門員	常勤 兼務	
介護支援専門員	齋藤百利子	主任介護支援専門員	常勤 専任	
介護支援専門員	齋藤 光	介護支援専門員	常勤 専任	
介護支援専門員	橋本由美子	介護支援専門員	常勤 専任	
介護支援専門員	池田祐三子	介護支援専門員	常勤 専任	

(2) 職務内容

① 管理者 1名 常勤職員

管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、自らも指定居宅介護支援事業の提供にあたる。

② 主任介護支援専門員 2名 常勤職員(1名は管理者と兼務)

介護支援専門員 3名 常勤職員

介護支援専門員は、指定居宅介護支援と介護予防支援の提供にあたる。

Ⅲ ホームヘルプサービスあずま

1 事業内容

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるように、本人の能力に応じた日常生活の排泄や入浴、食事等の身体介護、調理や掃除、洗濯等の生活援助を行い、要介護状態を可能な限り防ぎ改善することを目的として業務にあたった。

酒田市で、平成 29 年より地域の実情に合わせた介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が実施され、総合事業対象者等の心身の特性を踏まえた自立支援サービスを展開し、令和元年度は 1 名が利用した。包括、ケアマネジャー等関係機関と連携し自立した生活が送れるように支援しました。

令和元年度においては、利用者減少で経過していることと、職員の長期病欠のため人員配置し、利用者、その家族のニーズに対応するために継続営業に至った。新たな人員配置となるため、通所職員を兼務職として職員間の情報共有とコミュニケーションを密にして活動を行った。これまでと同様にヘルパーの資質のさらなる向上に向け、内部での研修の継続や関係機関との連携を取り業務を行い、今後も法人内の各事業所と協力を行いながら、在宅介護には必要な訪問介護サービス事業所として地域に根ざし、法人外の介護支援専門員からの紹介の拡大につながるよう事業運営を行っていく。

新型コロナウイルス感染症予防については、山形県の指導による対策を取りながら業務にあたった。

2 訪問介護内容

介護保険給付対象サービスとして、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯、買い物等の生活援助、その他の日常生活上の世話をする訪問介護計画を作成し提供した。

3 利用料金

(1) 介護保険給付

- ① 介護報酬 介護報酬告示額(介護保険負担割合証に記載の摘要欄に応じた自己負担額)

② 短期訪問時に対する評価による改正単位数

身体介護が中心である場合	20 分未満	20 分以上 30 分未満	30 分以上 1 時間未満	1 時間以上
	166 単位	249 単位	395 単位	577 単位

生活援助が中心である場合	20 分以上 45 分未満	45 分以上	身体介護に引き続き生活援助を行う場合		
	182 単位	224 単位	20 分以上	45 分以上	70 分以上
			66 単位	132 単位	198 単位

③ 平常時の時間帯(午前 8 時から午後 8 時)以外の時間帯のサービスの場合

- ア 早朝(午前 7 時から午前 8 時まで) 25%増加

イ 夜間(午後6時から午後9時まで) 25%増加

④ 初回加算 1月につき +200 単位

⑤ 緊急時訪問介護加算 1回につき +100 単位

⑥ 生活機能向上連携加算 1月につき +100 単位

⑦ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)所定単位数(合計) ×13.7%

(2) 総合事業 訪問型独自サービス(1月につき)

① 訪問型独自サービスⅠ 1,168 単位/月 週1回利用

訪問型独自サービスⅡ 2,335 単位/月 週2回利用

訪問型独自サービスⅢ 3,704 単位/月 週3回以上利用 ※Ⅲは要支援2のみ利用

② 初回加算 1月につき +200 単位

③ 介護職員処遇改善加算(Ⅰ)所定単位数(合計) ×13.7%

(3) 総合事業 訪問型独自サービス(利用回数に応じた利用料)

区分	利用回数	単位数	本人負担額(円)	
			2割	4割(高額所得者)
訪問型独自サービスⅣ	週1回程度	267/回	534	1,068
訪問型独自サービスⅤ	週2回程度	271/回	542	1,084
訪問型独自サービスⅥ	週2回を超える程度	286/回	572	1,144
訪問型独自短時間サービス	20分未満1月に22回まで	166/回	332	664
初回加算	1月につき	200/月	400	800

4 事業実施日及び時間

(1) 事業日 月曜日から土曜日まで

5 事業実施地域

酒田市内

6 職員配置と職務内容

(1) 職員配置

職 名	氏 名	資 格	職務形態	備 考
管理者	堀 由美子	社会福祉主事任用 介護福祉士	常勤兼務	
ヘルパー サービス提供責任者	宇佐美輝子	介護福祉士	常勤専任	
ヘルパー	兵藤 陽子	介護福祉士	常勤専任	令和元年9月～病欠
ヘルパー	後藤 弘美	初任者研修	常勤兼務	令和元年9月～
ヘルパー	齋藤 美樹	介護福祉士	非常勤兼務	

(2) 職務内容

① 管理者 1名

管理者は、事業所の従事者の管理及び業務の管理を一元的に行う。

② サービス提供責任者(介護福祉士) 1名

サービス提供責任者は、事業所に対する指定訪問介護、総合事業訪問サービスの利用の申し込みに係る整理、訪問介護員等に対する技術指導、訪問介護計画、訪問型サービスA(総合事業)の訪問介護作成等を行うとともに、自らも指定訪問介護、訪問型サービスA(総合事業)の提供にあたる。

③ 訪問介護員等

介護福祉士 2名(うち1名サービス提供責任者と兼務、常勤)

初任者研修 1名(常勤兼務)

介護福祉士 1名(非常勤)

訪問介護員等は、指定訪問介護、訪問型サービスA(総合事業)の提供にあたる。

7 ホームヘルプサービスあずま 利用者状況(総合事業対象者も含む)

(1) 世帯状況

	独居	老世帯	家族あり	合計
東平田	2	0	5	7
中平田	0	0	3	3
北平田	0	0	0	0
その他	2	0	1	3
計	4	0	9	13

(2) 地区別男女

	男	女	計
東平田	1	6	7
中平田	1	2	3
北平田	0	0	0
その他	0	3	3
計	2	11	13

(3) 自治会別利用者人数

【東平田】

自治会	人数
矢流川	2
横代	1
生石	1
北境	1
金生沢	1
関	1
計	7

【中平田】

自治会	人数
下勝保	1
熊手島	1
計	2

【その他】

自治会	人数
東大町	1
一番町	1
下黒川	1
計	3

合計21名

(4) 令和元年度実利用者等

- (1) 平成30年度実利用者数 13名
- (2) 施設等への入所者数 1名
- (3) 他事業所へ 1名
- (4) 死亡者数 2名

特別養護老人ホームあずま拠点 事業報告書

- 1 特別養護老人ホームあずま
- 2 ショートステイあずま

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人東平田福祉会

令和元年度 社会福祉法人東平田福祉会
特別養護老人ホームあずま拠点事業報告について

1 事業報告

地域に開かれた入居者が安心して生活できる施設として、家族との信頼関係の構築や地域との交流、ボランティアの受け入れ、防災対策の整備など、これまでの課題や反省を踏まえ事業を展開し、安定した基盤を築けるよう取り組んだ。また、運営推進会議、第三者委員会などを通して、関係機関の方々から助言・指導を受けながら健全な施設運営に努めた。

ユニットケアの特徴である、入居者がゆったりとした時間と家庭的な雰囲気の中で、生きがいを感じながら充実した生活を送って頂けるよう、個性を尊重しながら支援に努め、季節に応じた行事や、手作りおやつ・畑作業等やり遂げることで自信を深めていただく活動を行い、満足いただけるサービス提供に取り組んだ。

社会福祉法人としての公益的な取り組みが求められており、地区の桜まつりの手伝いや夏祭りの協賛、さくら公園の美化サポーター活動への参加、地域交流スペースの開放などで地域の身近な存在であるよう取り組んだ。また、広報紙の定期発行やホームページの内容を充実させ、施設の様子などを積極的に情報発信しPRに努めた。

令和元年度は、入居者の死去・老健入所による退所が6名と少なく、これまでの反
まえ長期間の空床を改善し、入居予定者への迅速な対応、また嘱託医との連携を図り、病院へ入院となるケースが少なく、当施設においてできる限りのケアを行いながら、前年度より稼働率が上がり安定した施設運営につなげた。

ショートステイについては、長期間の利用希望や週末の利用希望が多く希望に沿え
分もあったが、特養の空床利用や平日の空き情報を提供したり利用キャンセルがあった場合は、すぐに待機している方に連絡し利用につなげた。利用状況の報告や体調不良時の連絡なども家族やケアマネジャーに迅速に行い、信頼できるショートステイを目指し取り組んだ。また、入退所の時間やサービス内容なども柔軟な受け入れ態勢を整え、レクリエーション作品作り等の充実を図った。稼働率は1日平均11名は確保したものの前年度を下回り一層の受入体制を整備したい。

職員体制では7名が離職し、十分な職員確保ができずサービスの質の低下を招いた時期もあったが、人材紹介業者からの紹介を活用し人材確保に努めた。現状を反省し離職を防ぐためにも、より多くコミュニケーションを図り、働きやすい環境を整備したい。

新型コロナウイルスの影響で、3月からは面会中止や行事を中止し、入居者・職員の健康状態の把握、外部からの訪問も可能な限り制限しながら感染防止に努めた。面会で
とで、家族からは不満の声もあったが、入居者の様子を写真で送ったり、電話で様子を報告するなどに対応した。一部職員に体調不良や家族の自宅待機で出勤停止を命じた時期もあったが、幸いにも感染することなく業務に復帰しており、ショートステイの受け入れも継続しており、施設運営には支障なく経過している。

防災対策については、庄内支庁河川砂防課との打ち合わせや酒田市の研修を受けながら、土砂災害発生時の避難確保計画を作成した。情報収集訓練やシミュレーションを行い、災害

発生時の避難経路の確認や必要物資の調達を確認し、防災対策に務め災害訓練にも活かしていきたい。

2 入居者の定員及び事業の実施地域

(1) 地域密着型特別養護老人ホームあずま 定員 29名

(2) ショートステイあずま 定員 12名

(3) 事業の実施地域 酒田市

(4) 地域密着型特別養護老人ホームあずま登録者の状況 (令和元年度登録者数：35名)

《登録者内訳》

性別	男性	7名
	女性	28名
計		35名

《退所者内訳》

老健入所	1名
病院で死亡	0名
施設で看取り	5名
計	6名

地域別	東平田	9名
	中平田	11名
	北平田	8名
	その他	7名
計		35名

(5) 月別データ

① 地域密着型特別養護老人ホームあずま

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	29	29	29	27	28	29	28	29	29	29	29	29	344
延べ定員	870	899	870	899	899	870	899	870	899	899	841	899	10,614
延べ利用	863	896	867	855	843	857	869	864	899	899	828	899	10,439
稼働率	99.2%	99.7%	99.7%	95.1%	93.8%	98.5%	96.7%	99.3%	100.0%	100.0%	98.5%	100.0%	98.4%
平均介護度	4.0	4.0	3.9	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0

② ショートステイあずま

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	26	26	24	25	28	28	26	32	28	26	26	32	327
延べ定員	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	348	372	4,392
延べ利用	373	360	312	339	378	321	340	304	289	349	322	353	4,040
稼働率	103.6%	96.8%	86.7%	91.1%	101.6%	89.2%	91.4%	84.4%	77.7%	93.8%	92.5%	94.9%	92.0%
1日平均	12.4	11.6	10.4	10.9	12.2	10.7	11.0	10.1	9.3	11.3	11.1	11.4	11.1
平均介護度	2.3	2.2	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.0	2.5	2.4

3 主な職種の勤務体制：特別養護老人ホームあずま及びショートステイあずま

	職 種	勤 務 体 制
1	施設長（管理者）	常 勤 （ 8：30～17：15）
2	医 師	非常勤 毎週火曜日 （14：00～16：00）
3	生活相談員	常 勤 （ 8：30～17：15）
4	介護支援専門員	常 勤 （ 8：30～17：15） 特別養護老人ホームのみ配置
5	介護職員	常 勤
		早 番 （ 7：00～15：45）
		日 勤 （ 9：45～18：30）
		遅 番 （13：30～22：15）
		夜 勤 （22：00～ 8：15）
		非常勤 （10：00～15：00）
6	看護職員	常 勤 （ 8：30～17：15）
7	機能訓練指導員	常 勤 （ 8：30～17：15）
8	管理栄養士	常 勤 （ 8：30～17：15）

4 基本利用料金

（1） 特別養護老人ホームあずま

第1段階	世帯全員が市町村民税非課税で、老齢福祉年金を受給している方					
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	646円		300円	820円	52,980円	
要介護 2	714円				55,020円	
要介護 3	787円				57,210円	
要介護 4	857円				59,310円	
要介護 5	925円				61,350円	

第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入合計が年間80万円以下の方					
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	646円		390円	820円	55,680円	
要介護 2	714円				57,720円	
要介護 3	787円				59,910円	
要介護 4	857円				62,010円	
要介護 5	925円				64,050円	

第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、第1段階・第2段階でない方で、課税年金収入が80万円超266万円未満の方					
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	646円		650円	1,310円	78,180円	
要介護 2	714円				80,220円	
要介護 3	787円				82,410円	
要介護 4	857円				84,510円	
要介護 5	925円				86,550円	

第4段階	第1段階～第3段階に該当されない方					
介護度	施設サービス費1割	施設サービス費2割	食費 (月額)	居住費 (月額)	1カ月の利用料金 (1割)	1カ月の利用料金 (2割)
要介護 1	646円	1,292円	1,405円	2,006円	121,710円	141,090円
要介護 2	714円	1,428円			123,750円	145,170円
要介護 3	787円	1,574円			125,940円	149,550円
要介護 4	857円	1,714円			128,040円	153,750円
要介護 5	925円	1,850円			130,080円	157,830円
介護度	施設サービス費3割		食費 (月額)	居住費 (月額)	1カ月の利用料金 (3割)	
要介護 1	1,938円		1,405円	2,006円	160,470円	
要介護 2	2,142円				166,590円	
要介護 3	2,361円				173,160円	
要介護 4	2,571円				179,460円	
要介護 5	2,775円				185,580円	

① その他介護保険サービス費

加 算 項 目		料 金		
		1割負担	2割負担	3割負担
初期加算（入所から30日）		30円	60円	90円
日常生活継続支援加算		36円	72円	108円
栄養マネジメント加算		14円	28円	42円
療養食加算		23円	46円	69円
サービス提供体制強化加算Ⅰ（イ）		18円	36円	54円
看取り 介護加算	死亡日以前4日以上30日以下	144円	288円	432円
	死亡日前日及び前々日	680円	1,360円	2,040円
	死亡日	1,280円	2,560円	3,840円
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）		総単位数（月）×8.3%		

(2) ショートステイ

要介護認定区分	従来型個室（自己負担分）			多床室（自己負担分）		
	1割負担	2割負担	3割負担	1割負担	2割負担	3割負担
要支援 1	438 円	876 円	1,314 円	438 円	876 円	1,314 円
要支援 2	545 円	1,090 円	1,635 円	545 円	1,090 円	1,635 円
要介護 1	586 円	1,172 円	1,758 円	586 円	1,172 円	1,758 円
要介護 2	654 円	1,308 円	1,962 円	654 円	1,308 円	1,962 円
要介護 3	724 円	1,448 円	2,172 円	724 円	1,448 円	2,172 円
要介護 4	792 円	1,584 円	2,376 円	792 円	1,584 円	2,376 円
要介護 5	859 円	1,718 円	2,577 円	859 円	1,718 円	2,577 円

要介護認定区分	ユニット型(空床型) (自己負担分)		
	1割負担	2割負担	3割負担
要支援 1	514 円	1,028 円	1,542 円
要支援 2	638 円	1,276 円	1,914 円
要介護 1	684 円	1,368 円	2,052 円
要介護 2	751 円	1,502 円	2,253 円
要介護 3	824 円	1,648 円	2,472 円
要介護 4	892 円	1,784 円	2,676 円
要介護 5	959 円	1,918 円	2,877 円

① その他介護保険サービス費

介護サービス加算	利用料			備 考
	1割負担	2割負担	3割負担	
短期入所生活介護 送迎加算（片道）	184円	368円	552円	利用者の自宅から当該施設まで 当該職員が送迎した場合
サービス提供体制 強化加算Ⅰ（イ）	18円	36円	54円	常勤換算で介護福祉士を全体の 60%配置している場合
短期生活処遇改善加算Ⅰ				1カ月の総単位数に8.3%を乗 じた額

② 滞在費及び食費

利用者負担区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
多床室	0 円	370 円	370 円	855 円
従来型個室	320 円	420 円	820 円	1,171 円
ユニット型	820 円	820 円	1,310 円	2,006 円
食費 (1日あたり)	300 円	390 円	650 円	1,405 円

5 行事及び研修について

4月	1日 (月)	辞令交付式
	11日 (木)	産業医来所
	15日 (月)	特養・ショートステイお花見
	19日 (金)	庄内地区特養連絡協議会総会
	20日 (土)	さくら公園桜まつり
	24日 (水)	介護相談員来所
	26日 (金)	酒田飽海地区特養連絡協議会
	29日 (月)	生石神楽見学 (地域交流スペース)
5月	7日 (火)	園芸作業 (～10日)
	16日 (木)	よもぎ団子作り
	23日 (木)	介護相談員来所
	28日 (火)	庄内支庁来所 (土砂災害計画策定)・運営推進会議・入居検討委員会
	31日 (金)	事故防止対策委員会
6月	4日 (火)	安全運転管理者講習
	5日 (水)	事故防止対策委員会
	6日 (木)	笹巻き作り
	13日 (木)	土砂災害情報収集研修
	19日 (水)	介護相談員来所
	20日 (木)	身体拘束廃止委員会
	26日 (水)	県集団指導 (ショートステイ)
	29日 (土)	さくら公園管理作業
7月	16日 (火)	おやつレク (16・17・19日)・入居者レントゲン検査 (随時実施) 8/29
	18日 (木)	川南カラオケ愛好会慰問
	19日 (金)	介護相談員来所・夏祭り打ち合わせ会
	26日 (金)	運営推進会議・入居検討委員会
	31日 (水)	地域密着型集団指導 (特養)
8月	3日 (土)	貯水槽水質検査
	11日 (日)	さくら公園夏祭り
	20日 (火)	おやつレク
	29日 (木)	介護相談員来所
9月	7日 (土)	公園美化サポーター活動
	11日 (水)	芋煮会
	17日 (火)	敬老会
	19日 (木)	介護相談員来所
	20日 (金)	庄内地区特養防災ネットワーク防災訓練
	24日 (火)	庄内地区特養連絡協議会職員研修会
	27日 (金)	職員健康診断
	30日 (月)	運営推進会議・入居検討委員会
10月	2日 (水)	パナソニック車椅子贈呈
	7日 (月)	介護支援専門員研修
	10日 (木)	庄内支庁来所 (土砂災害計画策定)
	11日 (金)	消防設備点検
	16日 (水)	介護相談員来所
	21日 (月)	感染症対策委員会
	25日 (金)	酒田飽海特養連絡協議会・おやつカフェ
	28日 (月)	介護支援専門員研修 (28・29日)
	29日 (火)	酒田市避難確保計画講習会

11月	5日(火)	庄内支庁河川砂防課来所(土砂災害計画策定)
	7日(木)	介護支援専門員研修(7・8日)
	13日(水)	川南カラオケ愛好会慰問
	18日(月)	おやつバイキング
	20日(水)	介護相談員来所
	21日(木)	健康保健指導
	26日(火)	運営推進会議・入居検討委員会・入居者インフルエンザ予防接種
	28日(木)	酒田市避難確保計画作成講習会
12月	3日(火)	庄内支庁河川砂防課来所(土砂災害計画策定)
	20日(金)	介護相談員来所・法人懇親会
	23日(月)	クリスマス会
1月	22日(水)	介護相談員来所
	28日(火)	運営推進会議・入居検討委員会
2月	3日(月)	節分行事豆まき
	6日(木)	消防署立ち入り検査
	9日(日)	事故防止対策委員会
	12日(水)	庄内地区特養防災ネットワーク防災訓練
	13日(木)	庄内地区特養連絡協議会施設長研修会(13・14日)
	13日(木)	チョコレートフォンデュ作り
	14日(金)	苦情解決第三者委員会
	19日(水)	介護相談員来所
	27日(木)	看取り委員会
3月	3日(火)	手まり寿司バイキング
	25日(水)	身体拘束廃止委員会

6 定期会議

調整会議	4/25(木)・7/23(火)・8/20(火)・9/5(木)・11/7(木) 12/10(火)・1/16(木)・2/14(金)・3/10(水)
主任幹部会議	4/10(水)・5/10(金)・6/14(金)・7/10(水)・8/8(木)・9/12(木) 10/9(水)・11/13(水)・12/11(水)・1/16(木)・2/14(金)・3/10(火)
ユニットリーダー 会議	4/9(火)・5/9(木)・10/8(火)・11/11(月) 12/9(月)・1/7(火)・2/12(水)

7 職員配置状況

令和2年3月31日現在

No.	勤務形態	職 種	氏 名	備 考
1	正職	施設長兼生活相談員	佐 藤 崇	
2	正職	介護支援専門員	土 田 よし子	
3	臨時	介護支援専門員	梅 津 由美	令和2年3月16日採用
4	正職	管理栄養士	本 田 智 子	
5	正職	看護師兼機能訓練指導員	梶 原 恵	
6	臨時	看護師兼機能訓練指導員	矢野 礼子	平成31年4月1日異動
7	正職	あさひユニットリーダー	池 田 裕 昭	
8	正職	特養介護職員 サブリーダー	高橋 みず穂	
9	正職	特養介護職員	相 蘇 真由美	
10	臨時	特養介護職員	佐々木 桂	
11	臨時	特養介護職員	高橋 ひとみ	
12	正職	たかおユニットリーダー	土井 和嘉子	
13	正職	特養介護職員 サブリーダー	山 口 睦 美	
14	正職	特養介護職員	斎 藤 真 澄	
15	臨時	特養介護職員	土 居 聖 也	
16	臨時	特養介護職員	荒 木 克 広	
17	臨時	特養介護職員	佐々木 雄樹	令和元年8月19日採用
18	臨時	特養介護職員	佐藤 彩香	令和2年3月23日採用
19	正職	おおもりユニットリーダー	鈴 木 央	
20	正職	特養介護職員 サブリーダー	阿 部 夢 奈	
21	臨時	特養介護職員	阿 曾 智賀子	
22	臨時	特養介護職員	阿 部 明 美	
23	臨時	特養介護職員	佐々木 由香	令和2年1月10日採用
24	正職	ショートステイ介護職員サブリーダー	田 中 宏 樹	
25	正職	ショートステイ介護職員	伊 藤 恵 美	
26	正職	ショートステイ介護職員	佐 藤 余 花	
27	臨時	ショートステイ介護職員	佐 藤 実	
28	臨時	ショートステイ介護職員	阿部 若菜	令和元年9月1日採用
29	非常	夜間宿直員	前 田 紋 一	
30	非常	夜間宿直員	齋藤 光正	令和元年5月31日採用
31	非常	夜間宿直員兼送迎職員	佐藤 勝彦	令和元年6月24日採用
32	非常	特養兼ショートステイ介護職員	堀 祐子	令和元年8月1日採用
33	非常	日勤業務員	庄 司 二三子	
34	非常	日勤業務員	長 澤 たか子	
35	非常	嘱託医	矢島 恭一	平成31年4月1日契約

8 退職者

No.	勤務形態	職 種	氏 名	備 考
1	正職	ショートステイ介護職員兼相談員	小野寺 悠 介	令和元年6月30日退職
2	臨時	特養介護職員	石 垣 和 子	令和元年7月20日退職
3	臨時	特養介護職員	阿 曾 美智子	令和2年1月27日退職
4	臨時	ショートステイ介護職員兼相談員	古 畑 友 美	令和2年2月29日退職
5	臨時	特養介護職員	佐 藤 喜 裕	令和2年3月31日退職
6	非常	看護師兼機能訓練指導員	矢口 絹代	令和元年5月7日採用 令和2年3月31日退職
7	非常	夜間宿直員	土 田 亘	令和元年5月30日退職(死去)

地域包括支援センターひがし拠点 事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

社会福祉法人東平田福祉会

平成元年度 社会福祉法人東平田福祉会
地域包括支援センターひがし拠点事業報告について

1 事業内容

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう保健、福祉、医療、介護などの身近な総合相談窓口として、酒田市から委託を受けて運営を行った。地域トータルコーディネートを目的として認知症地域支援推進員、第2層生活支援コーディネーターを配置し、機能強化を図り、三職種と連携しさらに専門的アプローチにより、地域の課題やニーズ、関係機関と連携し、地域にある力を活かした地域づくりを目指した。

職種別・課題別の取り組みとして、認知症グループでは酒田市の認知症カフェ支援、さかた声掛け隊のスキルアップ研修を開催した。保健師グループでは、地域でできる一般介護予防事業を推進するため、介護保険課と連携しいきいき百歳体操の継続支援、健康課・コミセンと連携し、ロコモ運動「まめでくらそう会」の継続支援を行った。生活支援コーディネーターグループでは、担い手養成講座の開催、コミュニティデザイン講演会に協力。また東平田地区の生活支援アンケート調査を行い、地域包括ケアネットワーク会議を開催。さまざまな立場の地域関係者と地域課題や地域支え合いについて共通認識を行った。通所型B「健康塾」継続支援、新たに男性同士の繋がり・生きがいを目的とした「メンズクラブ」と東平田健康塾との活動支援へのマッチングを行った。

地域包括ケアの推進では、引き続き自治会長会や地区文化祭に参加し、顔の見える関係づくりを行い、身近な地域で閉じこもり・認知症予防・介護予防としての居場所づくりを推進するため、自治会からの理解と協力によりいきいき百歳体操、自治会サロン立ち上げ・継続支援を推進してきたが、3月からは新型コロナウイルス感染症予防として、すべての会を酒田市の方針に従い当面自粛を行っている状況である。

2 事業

- (1) 総合相談事業
- (2) 地域包括ケア推進事業

3 業務内容

- (1) 高齢者または家族に対する高齢者総合相談、支援業務（介護保険対象外のサービスを含む）
 - ① 地域におけるネットワーク構築の推進 関係機関との連携
 - ア 3地区自治会長会・3地区文化祭・サロン協力員の情報交換会（東・中・北平田）
 - イ 地域ケア会議の開催（個別地域ケア会議3回・小地域ケア会議3地区合同2回・地域包括ケアネットワーク会議1回）
 - ウ 地域課題の把握・整理（生活圏域の社会資源ガイドブックを居宅と共有）
 - エ 自立支援型地域ケア会議への参加
 - ② 実態把握業務 75歳高齢者の把握 個別訪問（要援護者台帳整備・定期訪問）
 - ③ 総合相談業務 相談受付時の初期対応と継続的、専門的な相談支援
 - ④ 認知症高齢者に対する総合的支援 認知症初期集中支援チームとの連携 認知症

地域支援推進員配置 安心お帰り登録申請（7名） 認知症カフェ（酒田市 11 回
法人のすみれカフェ 11 回） 認知症サポーター養成講座（1 回）

（2）高齢者に対する虐待の防止、早期発見等権利擁護業務

- ① 成年後見制度の活用
日常生活自立支援事業とインフォーマルサービスの活用
- ② 老人福祉施設への措置
- ③ 高齢者虐待へ防止と対応（相談受付 1 件）
- ④ 困難事例への対応（相談受付 2 件）
- ⑤ 消費者被害の防止及び対応

（3）困難ケースの対応における介護支援専門員への支援等、包括的継続的ケアマネジメント

- ① 包括的、継続的なケアマネジメント体制の構築
- ② 地域における介護支援専門員同士のネットワーク構築支援や実践力向上
（圏域内居宅との連絡会 2 回・圏域内研修 2 回・事例検討会 1 回）
- ③ 日常的個別相談、指導、助言、個々の介護支援専門員へのサポート
- ④ 支援困難事例への指導、助言
- ⑤ 介護予防マネジメントに関する介護支援専門員との連携

（4）地域支援事業及び介護予防給付・総合事業に関する介護予防ケアマネジメント

- ①ア 要支援者・総合事業事業者に関するケアマネジメント（一部委託）
 - イ 一般介護予防事業のすこやかマスターズ事業紹介と受付・いきいき百歳体操（21 か所継続支援、1 か所立ち上げ支援）・まめでくらそう会（東平田・北平田継続支援）
 - ウ 地域性に応じた居場所づくりの企画、実施（自治会サロンの立ち上げ支援 2 自治会・継続支援 24 自治会）
 - エ 介護予防体制づくりとして通所型 B 継続支援（東平田地区健康塾・北平田地区合同いき百通所 B 立ち上げへ向けて継続支援）
- ② 地域包括ケア推進
 - ア 医療、介護、地域等の関係機関との連携体制強化（民生委員定例会へ参加）
 - イ 生活支援・介護予防の基盤整備（通所型 B 東平田地区健康塾・北平田地区合同いき百通所型 B 立ち上げに向けて相談・継続支援）
 - ウ 資源開発（地域の不足するサービスの把握 サービスの担い手の養成 高齢者が担い手として活動する場の確保）
 - エ ニーズと生活支援等サービスのマッチング（メンズクラブ活動支援）
 - オ 地域支援計画の作成
- ③ 地域包括支援センター全体会議 5 回・センター長会議 5 回
 - ア 職種別・課題別会議
 - イ センター内外研修と包括内ミーティング

4 利用料金

自己負担なし

5 事業実施日

祝祭日、年末年始を除く月曜日～金曜日まで（8時30分～17時15分）

*ただし、時間外は携帯電話への自動転送。夜間、休日の緊急時又は希望時の対応可。

6 事業の実施地域

酒田市7圏域（東平田地区、中平田地区、北平田地区）

7 職員の配置

職 名	氏 名	資 格	職務内容	備 考
センター長	堀 由美子	主任介護支援専門員	常勤 兼務	
保健師等	菅原恵里奈	看護師	常勤 専任	
保健師等	富田 美千	看護師	常勤 専任	
主任介護支援専門員	飯塚 清	社会福祉士	常勤 専任	H31.3月退職
第2層生活支援 コーディネーター	児玉明日香	社会福祉士	常勤 専任	
第2層生活支援 コーディネーター	堀 由美子	主任介護支援専門員	常勤 兼務	R2.3月のみ

